

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
熊谷市	熊谷市	平成 2 9 年～令和 3 年度	平成 2 9 年～令和 3 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 2 7 年度)	目 標 (令和 3 年度) A	実 績 (令和 3 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	9, 942	9, 558	9, 139
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5. 0%	5. 0%	4. 7%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	50, 294	51, 621	49, 097
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	25. 2%	26. 8%	25. 4%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	51, 779	42, 706	42, 726
				100%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

集落排水施設等については、整備が完了しているため、該当地区の人口減少の影響であると考える。

合併処理浄化槽等については、単独浄化槽及びくみ取り便槽からの転換の際に、補助金を活用したとしても多額の自己負担が発生するため、転換が進まなかったものと考えられる。県内希少野生動物種の保護のため、重点的に転換を促進して水質改善を図っている地区については、令和元年度にポスターの制作を行い啓発活動を行ったが、該当地区の整備率は他の地区と比較しても高い水準になるため、大きな効果は得られなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和8年度まで

合併処理浄化槽への転換促進のため、令和4年度に実施する法定検査の受検啓発と併せて、浄化槽設置整備事業補助金の制度周知を図る。また、浄化槽台帳の精査を進め、合併処理浄化槽の整備率を正確に把握し、ホームページや市報、自治会の班回覧等を効果的に活用することで転換を促進する。

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により合併処理浄化槽への転換を推進し、未処理人口の解消をさらに推進していただきたい。